

市民の声

待たれる被害樹の復旧



久米靖穂さん (70歳)
十文字地域

今年の豪雪は特に1月6日から連続的に降り、1月総積雪量は510cmとなり、昭和49年の積雪量より多かった。加えて毎日真冬日が続いたため「シマリ雪」となり、37年ぶりの「恐雪」となった。この影響で横手地方の果樹、リンゴ、ブドウ園では大きな被害が出ている。リンゴであるが、樹冠雪の雪下ろしがなかなか出来ず、主枝の裂開や折損被害を出した。原因は高齢化と人手の限界で住宅の雪下ろしに比重がかかった事である。2月中旬からは積雪による沈降の結果、枝折れが多く見られている。ブドウは積雪重により支柱折れや、支線が切れる被害が多く、対策はリンゴでは融雪剤を散布し、消雪を早め、主枝の軽めのものにはカスガイ、ボードで処置する必要がある。回復が不能と思われる木は伐採し、苗木を植える対策をとる。横手地方のリンゴ、ブドウは日本一おいしい果実であり、収穫時を楽しみにしている人が多くいるので気持ち強くもって復旧に全力をあげよう。



被災されました皆さまへ

このたびの東北地方太平洋沖地震とこれにともなう大津波によって尊い命を失われた多くの方々並びにご遺族の皆さまに深い哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、被災地域の日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

秋田県横手市議会

横手市議会では、このたびの地震により被害に遭われた方々を支援するため、秋田魁新報社を通じて義援金をお送りしました。

また、家屋の倒壊など甚大な被害が生じた友好都市の茨城県那珂市にたいしても義援金をお送りしています。



災害義援金を手渡す塩田副議長
(秋田魁新報社横手支局)

会派調査研究報告

◇1月31日～2月2日 新風の会

3名

亜臨界水処理プラントについて
リサイクルセンター炭生館について
〔東京都千代田区〕
〔愛知県田原市〕

編集後記

この度の東日本巨大地震で被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

今冬は当市において除排雪作業中の事故が相次ぎました。また、樹園地や農業施設、建物などに多くの被害を与えました。豪雪により被災された皆様におかれましては謹んでお見舞い申し上げます。

散々な降雪も一段落し、「これから雪に蹂躪されてしまった樹園地を復興していこう。」「雪との格闘の末に出来た大幅な仕事の遅れをこれから一気に取り戻していこう。」など、市民の中には思いを新たに、それぞれ強い決意と覚悟を持って、春の雪解けを待っていた方も多くいたのではないのでしょうか。

これからという矢先の今般の大地震。数百年に一度の大地震の被害を目の当たりにしてしまつと、数十年に一度の大豪雪があつた事など下手すると忘れてしまひそうです。「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉もありますが、大自然に對し常に謙虚な気持ちを忘れてはならないと今更ながらに強く思いました。(大)

◆議会広報委員会◆

委員長 土田 百合子

副委員長 青山 豊

委員 高橋 聖悟・立身万千子

鈴木 勝雄・奥山 豊

高橋 大・小沢 秀宏

塩田 勉